

発 行

福井県大野市天神町1番1号

大 野 市 役 所

電 話 (代) 6-1111

郵 便 番 号 9 1 2

印刷 松浦印刷所



6月の人口の動き

出生	男 25	女 17	計 42
死亡	〃 19	〃 13	〃 32
転入	〃 47	〃 51	〃 98
転出	〃 43	〃 48	〃 91
世帯数	10,255(前月+10)		
人 口	42,551(前月+17)		
男	20,515	女	22,036

い
よ
い
よ
本
番



汗 だ く の け い こ

生音頭と踊りの調和にひと苦勞

「ヤンレサハーハーハーエ これから
ヤ 若い衆さんじゃ お手がそろうたら
しつちよいなでやろか ハア シッチョ
イチョイノ コーラショ」

6・7月にはよく大野商工会館から心地よい音頭と威勢のいい掛け声が夜風に
乗って流れてきました。

これは城まつりに踊りを指導する、越前
おのおどり保存会、のみなさんの練習会
で、会場に入りますと外での感じと

は違い「本番まで後わずか」という引き
締まった空気が漂い、どの顔にも汗が光
っていました。

「しつちよいな節の最初の動作は種ま
きですから、目は下に左手はかごを抱え
るつもりで踊りましょう」「それに後の
動作は豊年を祝って踊る意味ですから、
左手をかざすときは右手で左の着物のそ
でを押えるつもりで……」「さあ、もう
一度けいこをしましょう」

集まった人たちは民謡本来の意味が失
われずに、市民から親しまれる踊りをマ
スターしようと一生懸命でした。

会長の尾崎俊夫さんは「踊るだけで
は指導員としての資格はありません。民
謡の心をよく理解して普及に努めること
が大切です。ことしは生音頭と踊りがよ
り一層調和するよう努力してきました」
と語っていました。

いよいよきょうから本番……。

一心ゆくまで楽しもう

駅東公園の踊りで 城まつりの幕開く



昨年若さいっぱいの演技で観衆を沸かせた中学校のバントワラーズ

ことしの「おおの城まつり」は1日の駅東公園での「越前おおのおどり」で幕が開きました。

「しっちょいな節」「御前おどり」「大

野音頭」それに「カンコ踊り」の郷土民謡を、生音頭の調べよろしく心ゆくまで楽しんでいただきます。

城まつりの行事日程は別にリーフレットで各家庭にお届けします。どうぞお楽しみに……。

市制21周年記念式典で 功労者個人三十一人と八団体を表彰



市長から表彰を受ける教育功労者

市制21周年記念式典が7月1日市役所で行われ、市政の発展に功労のあった個人31人と8団体

また国民健康保険に加入している196世帯の健康優良世帯が市長から表彰されました。市政功労者は次のみなさんです()内個人の場合は住所、団体は代表者です。(敬称略)

【自治】 土本道治(南新在家)清水確男(落合)

【納税】 福井相互納税貯蓄組合(奥野恵三)二番下四同(久保君雄)大和町同(斉藤平栄)尾永見同(足利周徳)富島同(朝国喬)下舌下二区納税組合(安川龍男)石黒与嗣雄(春日二丁目)堀江等(本町)佐々木辰雄(本町)黒原義雄(元

町)

【保健】 高井善弘(日吉町)

【民生】 加藤千代子(泉町)松田たか(城町)

【産業】 斉藤政雄(泉町)島田正(本町)松田国也(天神町)

【教育】 松田桂介(本町)長谷川研一(本町)長谷川あい子(本町)石見幸夫(美山町野波)今井礼子(春日三丁目)羽田義任(日吉町)山内栄子(水落町)大沢幸代(高砂町)福田清子(泉町)島田文夫(天神町)松岡妙子(中野町)浜孔子(木本)小島せつ子(土打)福島艶子(糸魚町)

【社会教育】 飯岡重一(萩ヶ野)竹林芳子(花房)坪田静枝(堂島)上庄地区婦人会(金森範子)

【交通】 乾川斉一(月美町)宮原久(中挟)乾側地区長寿会(南部情一)

金森長近公400年記念特別展

遺筆遺品を出品

ことしは金森長近公が大野に入部されてからちょうど400年に当たりますので「金森長近公400年記念特別展」が8月15日から17日まで越前大野城で開かれます。

展示品は長近公の遺品や金森家ゆかりの品約30点を、岐阜県美濃市・高山市・八幡町などの関係者から借りてきます。

これらの品物の中には長近公直筆の、「梅水鳥画」「金森家書状」等があり、後世に書画をほとんど残さなかった公の遺筆が含まれています。

この外、長近公が豊臣秀吉から贈られた鶴の羽で作った陳羽織、実戦に使った軍扇や馬のむちがあり、金森家ゆかりの品としては、安土桃山文化を象徴する狩野探幽の画なども出品されます。

また、8月15日午前10時からは大野公民館で「金森長近公のまちづくり」と題して講演会があります。

講師は高山市郷土史研究家の菱村正文氏です。

特別展と講演会をとおして、大野の基礎をつくった戦国の武将金森長近公の人となりをしるふ絶好の機会です。

十二月には全線が舗装に

都市計画街路向島線



歩道工事が進む都市計画街路向島線

都市計画街路向島線・新庄東中線の舗装工事が始まりました。

向島線は春日三丁目地係の延長 153m で、車道 9m 両側に 1.5m の歩道を設けます。事業費は 960万円で



工期は12月までです。

この道路の舗装工事は弥生町の市道横末吉町上神明線の交点から春日二丁目の国道 158号線バイパスまでの 1,160m を総額 5,160万円で昭和48年から進めてきており、ことしですべてが完成します。

また、新庄東中線は向島線より西側150m に車道 9m 両側に 3.5m の歩道を設け歩道内 1m には植樹帯としてコブシ30本を植えます。

事業費は 1,500万円で工期は12月までです。

昨年は向島線東側 240m を舗装しましたので、ことしの分と合わせて 390m になり、南部土地区画整理事業で改良した部分の舗装が全部完了します。

今月の納税

市・県民税 2期

30日までに納めて下さい。

市街地で河川の改良工事始まる

水の地下浸透も工夫

市街地のあちこちで河川の改良工事が始まりました。

春日一丁目の春日東川 110m を 290万円で、本町二番東川筋 102.5m を 258万円で、また美川町木爪川支流猫川75.3m を 296万円でそれぞれ3面コンクリートの排水路に改良します。春日東川は改良に当たって、水が浸透しやすいように底に1m置きに5mのパイプを入れています。完成は春日東川・猫川は9月、二番東川筋は8月です。また、近く二番西川筋 101.5m も工事にかかる計画です。

ことし工事を進める排水路はいずれも水量が多く側面の傷みがひどいため、一昨年から年次計画で改良を進めています

底にパイプを入れ水の地下浸透をはかる春日東川改良工事

1月～6月の火災は5件

10年間で最も少ない

大野地区消防本部はことし上半期(1月～6月)の火災・救急統計をまとめました。

これによりますと火災は5件で、前年の12件に比べて大幅に減っています。

また損害額でも76万円と少なく、出火

件数・損害額とも過去10年間の最低という喜ばしい状態です。救急では出動件数が160件、運んだ人員は178人でした。

これも前年同期に比べ2件少なく、人数では9人減っています。全体では良い傾向にありますが、内容的にみますと交通事故による出動件数は年々増えており昨年の36件に対してことしは43件になっています。

じんかい焼却場建設は市単独で

広域行政でのメドつかず

大野市・勝山市・和泉村の2市1村でつくった広域事務組合は、昭和47年7月からじんかい焼却場の建設計画を進めてきました。

過去3か年間4～5か所の候補地を絞

り、用地交渉を進めてきましたが、ついに土地確保のメドがつかないため、広域事務組合での焼却場建設は中止しなければならなくなりました。

それに伴って7月1日から同事務組合事務局は縮少し、今後じんかい焼却場建設は各市・村単独で行うことになりました。

大野市は一日も早く50～60t能力の焼却場を建設するため、準備を進めています。

農業者の意識調査の結果

「農外収入を得ながら

農業を続けたい」

産物販売100万円以下66%

農外収入を得ながら今後も農業を続けていきたい——市農業委員会がこの程行った「農業者の意識調査」の結果、こんな声が多く出てきています。

この調査は転換期に立つ農家の実態を探ろうと、市内全農家 3,723世帯を対象に行ったもので、回収率は76.5%と大変良い成績でした。

調査結果の主なものを紹介しますと、農業所得が家庭の全所得に占める割合は50%未満が全体の43.7%、50~90%が33.4%、90%以上は11.7%で、これを農産物販売額で見ますと、100万円以下66% 100~200万円25.3%、200万円以上は4.3%となっており、農外収入の比率がかなり高いことがわかります。

耕作面積は150アール以下が77%、250アール以上の耕地を所有している人は、



市内農家の94%が稲作を主産物にしている

全体の1.7%です。

また作物では米が94.4%、たばこ・酪農はともに0.6%となっています。

今後も「米」を作りたい

今後の農業経営については、専業でやる15.7%、兼業でやる63.5%、やめたい3.7%となっています。

やめたい理由には、農業ではとても生活ができない、経営の拡大ができない、農業経営に自信がない——などが挙げられます。また、今後の主作物としては米59.5%たばこ0.56%酪農0.6%施設園芸

0.56%いも類0.47%——などが望まれています。土地基盤整備が終わり農業近代化が進む中での農業経営のあり方については個別経営で機械は共同利用する34.5%、あくまでも個別経営でやりたい26.5%など個別経営を望む人が多く、また、今後農地を増やしたいと思っている人は47.3%、反対に縮少したい人は33%です

たい肥づくり大半が賛成

たい肥などを使った有機農法についての意見では、当然やるべきだ80%、反対だがやむを得ない2.9%、その必要がない2.4%となっており、地力培養推進への関心が強いことが伺われます。

賛成理由としては、肥料としての効果が十分にある、米の品質がよくなるから——などです。

また必要がないと答えた人の理由には取り扱いが面倒だから、手間がないから——などが挙げられています。

酪農および養鶏の集団化については、大変よい30.3%、わからない20.3%、賛成だができない16.3%、絶対反対である4.1%であり、賛成理由としては、米作外の収入を求めるため、共同で仕事ができるから、若い力をこの仕事にかけてみたい——などがあります。

同委員会では、農政専門委員会が現在調査結果を検討中であり、これからの農業振興計画を立てる基礎資料に生かしていきます。



②7 文殊院勝道記

越前大野修験人別帳

万延二年(1861)に文殊院勝道の手になる記録(某家所蔵)によりますと、修験者(山伏)は文殊院・福昌院・吉祥院・持宝院・等覚院・円明院(猪島)・実相院(笹島口)の7院です。(別納に岩本院があり8院)

修験者の宗教的活動は当時の庶民と深く結びついており、大野民俗のうち



例年の町法事、町・村祭、虫送り、雨乞祭、地祭(地鎮祭)、綱引き、相撲神楽等行事記録を調査すると、修験者との結びつきの深さがわかります。

また、学芸への影響でも俳句や絵画

の達人も多くありました。しかし、残念なことには、幕府や明治新政府の政策で生活窮乏のため破戒僧が続出して、修験者の

じゅう術的宗教活動の神通力は失われ庶民の信者がなくなっていました。8院中現在残っているのは金毘羅堂の持宝院だけで、修験道に関する文書が少ないのは残念です。

夏の交通安全市民運動7月21日～8月20日

過労 飲 酒 無免許 暴 走

4 悪をなくそう

毎年夏には交通事故が多く発生します。昨年は市内で7月に26件、8月に24件起きており、9・10月など事故の少ない月の約2倍の件数になっています。

この原因には夏休みによる子供の遊びの増加、暑さによる運転者の疲労、行楽帰りの過労などが挙げられます。

このため、市交通対策協議会では「夏の交通安全市民運動」を7月21日から8月20日までの1カ月間「暑さに負けず正しい交通」「ゆっくり走ろう」をスローガンにして繰り広げています

運転者は過労・飲酒・無免許・暴走の四悪を追放して、特に子供と老人を守って下さい。

また家庭では子供の自転車遊びによく気をつけて、正しい乗り方を指導して下さい。

—大野地区— 各戸に宣言旗掲げる

大野地区の各戸は、7月1日一斉に「交通安全宣言の家」と書いた黄色い旗を掲げました。

これは大野地区区長会が中心になって各世帯に旗1本85円であっせんしたものです。地区区長会長の安土義雄さんは「旗を掲げた家の人はもちろんのこと、町を通行する人も車も旗を見てまず交通安全に心掛け、事故のない楽しい夏休みにしたいものです」と語っています。

し体協会立看板で呼びかけ

大野身体障害者し体協会(会長柏太一さん)は「自分たちも交通安全に一役果



「交通安全宣言の家」の旗を掲げる市民

たそう」と、この程「遊んでいる子供は走る赤信号」等の標語を書いた大きな立看板を4枚作り、市内の交通量が多い道路や学校近くの特に注意が必要な所に掲げました。

ハテナ? はてな?

交通安全クイズ

家族そろって考え、応募しましょう。

ヨコのカギ

1. 昨年全国で〇〇〇〇事故により1万1,432人が死亡
2. 運転中に使うなんて
3. 砂利道では乗ることがある
4. 飲んだら絶対運転しない
5. 〇〇へ行ってもルールを守ろう
6. 歩行者信号機の青のこれは渡り始めてはいけません
7. 汗〇〇〇
8. 子供の事故原因の約80%を占める
9. 飲酒、無免許運転、スピード違反を交通〇〇悪という

10. 子供にルールを教えるにはまず手本を示さなければ

11. おなかとくつつくぞ

12. アメリカのお金

13. みんなの願い交通〇〇〇〇

タテのカギ

- 一、ここでは必ず徐行
- 二、〇〇うっかり免許証を忘れてでは隠ります。
- 三、駐車車両の前や〇〇〇を横断するのは大変危険
- 四、お年寄りの〇〇のひとり歩きは危険
- 五、転落防止の安全施設
- 六、疲れている証拠
- 七、交通ルールは道路交通法に〇〇めてある
- 八、車両(自転車を含む)はここで止まる
- 九、〇〇〇骨折の重大事故
- 十、手や顔を出すのは危険
- 十一、見通しの悪い交差点で必ず〇〇〇
- 十二、〇〇こうも交通事故が多いのでしょ
- 十三、夏は海や山への行楽が〇〇〇で事故も多くなる

応募規定

応募資格 大野市民

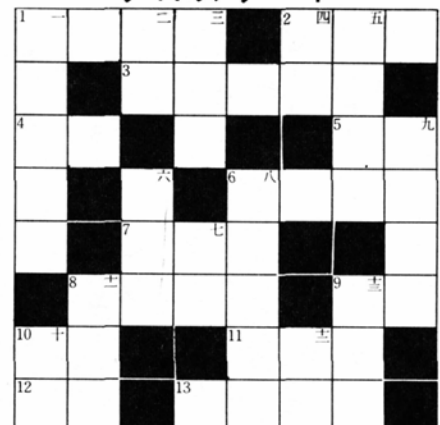
応募方法 官製ハガキにます目を書き答を書く

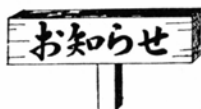
賞 品 正解者のうち抽選で賞品進呈
締め切り 8月20日(水)

発 表 直接本人に通知

あて先 大野市天神町1-1 大野市役所生活環境課内
大野市交通対策協議会事務局

クロスワード





◆……市職員を募集します

市の職員採用候補者初級試験を次のとおり行います。

1. 採用予定人員 事務職男子3人、保母1人
2. 受験資格 昭和26年4月2日から昭和33年4月1日までに生まれた者
3. 試験の日時、場所

＜第1次試験＞10月12日(日)午前9時から藤島高等学校で

＜第2次試験＞11月上旬大野市役所で

4. 受験手続き

市役所庶務課にある申し込み用紙に必要事項を書いて、写真(上半身脱帽正面向き縦6センチ横4センチで、6か月以内に写したもの)をはって提出。

5. 受付期間

昭和50年9月2日から12日まで。郵送の場合は、12日の消印のあるものまで有効。

◆……点字講習会は24日から

点字奉仕員を養成する点字講習会が、8月24日(日)から9月21日(日)までの毎週日曜日午後1時から3時まで、大野公民館で開かれます。

希望される方は市福祉事務所へ申し込んで下さい。

◆……消費生活モニターを委嘱

市はこの度消費生活モニターを委嘱しました。モニターは商品の規格や表示、

価格、食料品公害などの問題について消費者から苦情や意見を聞き、また調査をして市の消費行政へ反映させる役割をします。モニターは次の方々です。ご意見、苦情などをお寄せ下さい。敬称略

松井欣子(泉町)坪内好子(月美町)
加藤照子(本町)長谷川佳子(春日二丁目)高橋順子(水落町)幅口紀子(有明町)野田佳江(春日二丁目)森島和恵(泉町)古川君子(春日二丁目)太田公恵(泉町)山口和代(明倫町)山岸利志子(清滝)松森はるの(春日三丁目)永田房子(新庄)

◆……文化祭作品の準備を

第9回大野市総合文化祭実行委員会はことしの文化祭を10月30日、11月1・2・3日、市民会館を主会場に行うことを決めました。テーマは「限りなき創造」で、これに沿って絵画・写真・工芸・書道デザイン・その他の作品を募集することになりました。今のうちから制作に心掛けて下さい。

◆……古タイヤは市のごみ焼却場へ

自動車古タイヤの処理は8月から処理業者に委託して行うことになりました。

処理を希望される方は毎月第2・4水曜

日の午後1時から4時までの間に、下記料金持参の上直接市じんかい焼却場へ持ち込んで下さい。

普通タイヤ1本につき50円、中タイヤ80円、大型タイヤ180円、スチールラジアルタイヤ450円。



◆……16ミリ映写機講習会に受講を

16ミリ映写機操作技術認定講習会を次のとおり行います。視聴覚教材を利用される機関・団体・グループ等の関係者は

スマイル

交通安全クイズ

暑い折どうもスママセン

— 出題者

多数受講して下さい。

日 時 8月23・24日午前9時～午後5時

場 所 大野市民会館

申し込み 8月21日(木)までに市教育委員会社会教育課、または近くの公民館へ。

◆……身障者の運転免許取得講習が

身体障害者対象の自動車運転免許取得講習会が8月25日(月)から大野自動車学校で行われます。県の補助で受講料が割安になりますので、希望者は8月16日(土)までに市福祉事務所へ申し込んで下さい。

◆……調理師試験予備講習は保健所で

調理師・製菓衛生師試験予備講習会が次のとおり行われます。

期 日 9月16日～19日の4日間

場 所 大野保健所

申し込み 8月20日から9月10日までに大野保健所へ

受講資格 飲食店、喫茶店、食品供与施設で実務経験2年以上の方
資格取得試験 10月中旬の予定

雨にけむる城下町を金森長近は天守閣から眺めていた。ここに・三日天気かぐずついている「梅雨入りにしては少し早いようだが」とつぶやいたときあわただしく階段を駆け上ってくる足音



▼「殿、一大事にござります。一大事にござります。」「なにござります。うろたえるな」「ハッ、ただいま柴田殿よりの早馬の使者到着、織田信長殿は明智光秀殿の謀反により、本能寺にて討死の報にござります。」「ナ、ナニ信長殿が討死?」「一瞬長近は全身の血液が凝固したかのように思えた。「出陣の用意じゃ!」時に天正十年(一五八二)六月▼とマア想像してみ

るのも楽しいものだが、長近公は十八歳で信長の父信秀に任え、続いて信長にもよく仕え、信頼も厚かったと言われる。天正三年(一五七五)五十二歳で大野に入部し、六十三才で飛騨高山の領主となるまでの十三年間、戦乱の世にあり多忙な中で、城と城下町づくりに力を注いだことは承知のことである▼城は江戸時代後期に焼失したが、昭和四十三年七月に復興され、その偉容をしのぶことができるし、小京都といわれる碁盤目の城下町もある▼昭和二十九年十一月二日に、長近公の遺徳をしのぶ意味で亀山に立派な銅像が立てられた。今年は長近公が大野入部以来ちょうど四百年。この四百年の歳月の流れに、城下町大野も幾多の変容を遂げた。きょうも長近公の銅像は黙々として市街地を見下ろしている。果たしてどんな思いで。